

登録日 2015/12/3

登録番号 CNST006

腫瘍名 原発性中枢神経系悪性リンパ腫

申請科 脳神経外科

投与スケジュール

ESHAP			21日 × 6~8 or ∞コース									
			1コース							2コース		
			1	2	3	4	5	6	7	22	(day)	
			* 矢印の下の時間は投与時間を示す									
①	プロイメンド 生理食塩水 側管1	150mg 500mL 点滴 60分	↓									↓
			10:00									
②	ソル・メルコート パロノセトロン 生理食塩水 側管1	500mg 0.75mg 50mL 点滴 15分	↓									↓
			11:00									
③	ソル・メルコート 生理食塩水 側管1	500mg 50mL 点滴 15分		↓	↓	↓	↓					
				11:00	11:00	11:00	11:00					
④	エトポシド 5%ブドウ糖 側管1	40mg/m ² 500mL 点滴 60分	↓	↓	↓	↓						↓
			11:15	11:15	11:15	11:15						
⑤	20%マンニトール 側管1	300mL 点滴 30分	↓	↓	↓	↓	↓					↓
			12:15	12:15	12:15	12:15	11:15					
⑥	シスプラチン 生理食塩水 側管2	25mg/m ² 500mL 点滴 24時間	↓	↓	↓	↓						↓
			12:45	12:45	12:45	12:45						
⑦	シタラビン 生理食塩水 側管1	2000mg/m ² 500mL 点滴 120分						↓				
								11:45				
⑧	生理食塩水 側管2:シスプラチン投与後フラッシュ 側管1:シタラビン投与後フラッシュ	50mL						↓				
								12:45				
								13:45				
⑨	生理食塩水 メインルート 24時間キープ	1000mL 点滴	↓									↓
			10:00									
			18:00									
⑩	生理食塩水 メインルート 24時間キープ	2000mL 点滴		↓	↓	↓	↓					
				4:00	4:00	4:00	4:00					
				10:00	10:00	10:00	10:00					
				16:00	16:00	16:00	16:00					
				22:00	22:00	22:00	22:00					
⑪	ジーラスタ	3.6mg 皮下注										↓
												10:00

注意事項

- ・B型肝炎再活性化の対策として必要な検査を随時検討する。
- ・PVCフリーの輸液セットを使用すること(型番JP-PBX8000FL)
- ・骨髄抑制予防として、G-CSF製剤の**ジーラスタ**をDay7に投与する。
- ・結膜炎予防として、**シタラビン**投与日から1週間**フルメロン点眼液0.1%**を6時間ごとに点眼する。
- ・シタラビン投与で皮膚症状が出現した場合、ステロイド外用剤で対応する。
- ・電解質(Na、Mg、K、Pを含めた)、LDH、尿酸、血糖値を**投与前と投与後定期的に測定**し、異常が見られた場合、腫瘍崩壊症や高Na血症を疑い対策を行う。
- ・**臨床試験上の減量基準**
好中球 ≤ 200/μL、血小板 ≤ 20000/μL: 次回クールより、シタラビン:50%、エトポシド:20%減量する。
血清クレアチニン上昇時シスプラチンを下記の基準で減量
(1.5~2.0mg/dL: 25%減量、2.1~3.0mg/dL: 50%減量、≥3.0mg/dL: 中止)
- ・尿量はシスプラチン投与後24時間ごとに確認。尿量2000mL未満でDr Call。
- ・側管2のシスプラチン投与時は輸液ポンプを使用する。側管1からの投与ルートも輸液ポンプ使用は可能。

参考文献

1) Velasquez WS *et al.* ESHAP-An effective chemotherapy regimen in refractory and relapsing lymphoma: A 4-year follow-up study, *J Clin Oncol*, **12**, 1169-76 (1994).
 2) 日本血液学会, 造血器腫瘍診療ガイドライン2013年版